入学前学習について考える(1)

主催：札幌学院大学 FD センター
日時：2012 年5月31日（木）15:00～17:00
会場：C 館4階会議室　　（事前の申し込みは不要です）
対象：本学の教職員のみなさま

今年のＦＤ研究会は「初年次学生の学び」を通年の共通テーマとし、参加者相互の対話の中から課題を浮かび上がらせる、あるいは解決の方向性を探っていく、というスタイルで毎月末に開催したいと考えます。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。また、「こんな課題について話し合いたい」というご希望があれば、教務課ＦＤセンター担当までお知らせ下さい。

５月のＦＤ研究会は、入学前学習について考えてみます。

現在、各学部では推薦・ＡＯ入試制度で入学する学生に対して多様な取組を行っています。しかし、そのねらいは何なのか。何を身に付けさせたいのか。基礎学力なのか、あるいは大学で学びに向き合う姿勢や態度なのか。また、ここでの学習成果を大学の学びにどう接続させようとしているのか。こういった基本的な意義や設計方針についての十分な議論が尽くされないまま、取組が形骸化している側面も否定できません。また、これを運営する教員の負担の問題もあります。

本年度は、学業特待制度の導入や外部委託化への試行など、入学前学習に関する新たな動きも見られます。そこで、今回のＦＤ研究会は、下記の話題提供を受け、本学の現状や課題について自由に語り合う場にしたいと思います。そして、今回を起点に、第２回、第３回と議論を継続しながら具体的な取組の方向性を探っていきたいと考えます。

プログラム概要：

15:00～16:15　話題提供
　15 分ぐらい）　甲斐 陽輔氏（教務部教務課長）
　　各学部の入学前学習を含む導入教育プログラムの現状
　15 分ぐらい）　中村 敦志氏（広報入試部長）
　　学業特待奨励制度の教育的な意義について
　15 分ぐらい）　湯川 郁子氏（経済学部教務委員長）小内 純子氏（社会情報学部教務委員長）
　　外部委託（外注）による入学前学習の成果と課題（速報）
　30分ぐらい）　佐々木 冠氏（経営学部）
　　「論述･作文」で開発した教材を入学前学習で活用できないだろうか
16:15～　　フリーディスカッション

獲得目標：

- 本学で展開される入学前学習の現状と課題について理解を深める
- 入学前学習に何を求め、どう実施するか、について考え始めるきっかけとする

報告概要：

- 佐々木 冠氏

　全学共通科目「論述・作文」ではこれまで様々な教材を開発してきました。この科目はアカデミック・ライティングの習得を主要な目的とする科目です。今回の発表では、現在「論述・作文」で提供している教育プログラム紹介するとともに、市販の入学前学習の「国語」プログラムとの比較を行います。また、他大学における入学前学習の単位化の実践例を紹介するとともに、論述・作文を単位化可能な入学前学習科目にした場合のメリットとデメリットについて話したいと思います。

問い合せ先：FD センター事務局（教務課・内線 3232）